

2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年2月4日

上場会社名 ミヤコ株式会社
 コード番号 3424 URL <http://www.miyako-inc.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末田 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 松田 博幸

TEL 06-6352-6931

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,842	0.6	257	7.0	274	6.4	187	139.1
2019年3月期第3四半期	3,867	2.1	240	14.1	257	13.9	78	61.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	68.27	
2019年3月期第3四半期	28.56	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	5,285	3,864	73.1	1,410.20
2019年3月期	5,225	3,749	71.7	1,368.20

(参考)自己資本 2020年3月期第3四半期 3,864百万円 2019年3月期 3,749百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		17.00	27.00
2020年3月期		10.00			
2020年3月期(予想)				0.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2019年3月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当2円00銭

配当予想の修正に関する詳細につきましては、本日別途公表しております「2020年3月期 配当予想の修正(無配)のお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	3.9	400	10.9	420	10.7	275	70.4	100.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想数値は、当第3四半期会計期間末の発行済株式数(自己株式控除後)が当事業年度末まで同数であると仮定して算出しております。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	4,587,836 株	2019年3月期	4,587,836 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,847,408 株	2019年3月期	1,847,408 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	2,740,428 株	2019年3月期3Q	2,740,428 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における住宅・非住宅向けの管工機材業界におきましては、住宅取得優遇制度や住宅ローンの低金利政策が継続されているものの、持家、貸家、および分譲住宅の減少が続いており、新設住宅着工は前年同期を下回る結果となりました。

また、非住宅市場においても減少傾向が続くなか、同業企業間の価格競争やサービス競争が激しさを増しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社ではブランド力を飛躍させるべく、ユーザーニーズに応えた新製品やアイデア製品の開発、商品やサービスなどの情報発信力の強化、ニッチ商品の品揃えの充実などに取り組み、全社一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は38億4千2百万円（前年同四半期比0.6%減）となりました。利益面では、営業利益は2億5千7百万円（前年同四半期比7.0%増）、経常利益は2億7千4百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、四半期純利益は1億8千7百万円（前年同四半期比139.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産の残高は、前事業年度末に比べて4千9百万円増加し、44億7千4百万円となりました。これは主に、売上債権が5千5百万円減少したものの、現金及び預金が1億1千1百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、前事業年度末に比べて1千万円増加し、8億1千1百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価が上昇したことによるものであります。この結果、総資産は、前事業年度末に比べて5千9百万円増加し、52億8千5百万円となりました。

(負債)

流動負債の残高は、前事業年度末に比べて6千9百万円減少し、12億9千9百万円となりました。これは主に、仕入債務が3千6百万円減少したことによるものであります。固定負債の残高は、前事業年度末に比べて1千3百万円増加し、1億2千2百万円となりました。これは主に、繰延税金負債が増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて5千5百万円減少し、14億2千1百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1億1千5百万円増加し、38億6千4百万円となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少はあったものの、四半期純利益1億8千7百万円を計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、現時点において2019年11月8日付「2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました業績予想数値に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,797,502	1,909,046
受取手形及び売掛金	1,378,664	1,346,815
電子記録債権	457,717	434,531
商品及び製品	764,820	770,943
貯蔵品	5,599	1,892
その他	21,166	11,731
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,425,271	4,474,761
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	39,498	37,855
土地	273,897	273,897
その他(純額)	11,142	9,148
有形固定資産合計	324,539	320,902
無形固定資産	7,682	5,837
投資その他の資産		
投資有価証券	258,612	270,701
その他	210,310	214,010
貸倒引当金	△440	△360
投資その他の資産合計	468,482	484,351
固定資産合計	800,704	811,091
資産合計	5,225,975	5,285,852

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	424,905	408,599
電子記録債務	562,251	541,606
短期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	50,485	16,829
賞与引当金	42,000	20,000
その他	88,541	112,023
流動負債合計	1,368,183	1,299,058
固定負債		
役員退職慰労引当金	90,088	93,916
繰延税金負債	12,590	22,650
その他	5,670	5,670
固定負債合計	108,349	122,236
負債合計	1,476,532	1,421,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,952	100,000
資本剰余金	119,774	584,726
利益剰余金	5,066,624	5,179,709
自己株式	△2,104,783	△2,104,783
株主資本合計	3,646,566	3,759,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,875	104,904
評価・換算差額等合計	102,875	104,904
純資産合計	3,749,442	3,864,556
負債純資産合計	5,225,975	5,285,852

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	3,867,698	3,842,756
売上原価	2,703,569	2,697,555
売上総利益	1,164,128	1,145,200
販売費及び一般管理費	923,131	887,287
営業利益	240,997	257,912
営業外収益		
受取利息	17	21
受取配当金	8,009	8,670
仕入割引	17,497	18,971
受取保険金	3,719	3,690
その他	3,824	3,584
営業外収益合計	33,068	34,938
営業外費用		
支払利息	394	402
売上割引	15,971	15,992
その他	40	2,378
営業外費用合計	16,406	18,773
経常利益	257,659	274,077
税引前四半期純利益	257,659	274,077
法人税、住民税及び事業税	85,600	87,000
法人税等調整額	93,802	-
法人税等合計	179,402	87,000
四半期純利益	78,257	187,077

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2019年6月27日開催の株主総会の決議に基づき、当第3四半期累計期間において資本金が464,952千円減少し、その他資本剰余金が464,952千円増加しております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（重要な後発事象）

（株式会社ツカダ興産による当社普通株式に対する公開買付けについて）

当社は、2020年2月4日開催の取締役会において、いわゆるマネジメント・バイアウト（MBO）（注）の一環として行われる株式会社ツカダ興産（以下「公開買付者」という。）による当社の普通株式（以下「当社株式」という。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」という。）に関して、賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対しては、その所有する当社株式を本公開買付けに応募することを推奨する旨の決議をいたしました。

なお、当社の当該取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後の一連の手続を経て、当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行なわれたものであります。

詳細につきましては、2020年2月4日に公表しております「MBOの実施及び応募の推奨に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）「マネジメント・バイアウト（MBO）」とは、公開買付者が対象者の役員である取引、又は公開買付者が対象者の役員の依頼に基づき公開買付けを行う者であって対象者の役員と利益を共通にする者である取引をいいます。